



2. 科目履修上の注意

全学共通科目について

「全学共通科目群」は、全学部で共通に開講する科目群であり、「共生」「健康・スポーツ」「キャリア」「外国語」「日本語」「人文」「社会」「自然」「日本文化」「情報」「海外研修」の区分で構成されています。

これらを通して、共生（ともいき）と勤儉誠実の考え方、及び幅広い教養を身につけます。

1. 「共生」の分野では、「共生人間論Ⅰ（ブッダと法然）」「共生人間論Ⅱ」「共生人間論実習」を開講し、仏教の立場から「共生」について考察します。具体的には、環境や他者の存在により自己が生かされていること、自己中心的な在り方の反省、自己能力の惜しみない提供、相互補完の精神などを学びます。これらを通して、共生と勤儉誠実の考え方を身につけます。
2. 「健康・スポーツ」の分野では、「スポーツ」の実技授業として、バドミントン、テニス、バスケットボールなどを開講します。これらを通して、健康づくりの習慣や、自己管理能力・チームワークなどの態度を身につけます。
3. 「キャリア」の分野では、「キャリアデザインⅠ」「キャリアデザインⅡ」を開講します。これらを通して、職業人として働くことの意義を理解し、社会の発展に貢献する態度を身につけます。
4. 「外国語」の分野では、「総合英語Ⅰ」「総合英語Ⅱ」「総合英語Ⅲ」「英会話Ⅰ」「英会話Ⅱ」「英会話Ⅲ」「中国語Ⅰ」「中国語Ⅱ」「韓国語Ⅰ」「韓国語Ⅱ」「フランス語Ⅰ」「フランス語Ⅱ」「ポルトガル語Ⅰ」「ポルトガル語Ⅱ」「英語リーディング」「英語ライティング」「英語ディスカッション」を開講します。これらを通して、外国語を的確に読み、書き、聞き、話す能力を身につけるとともに、グローバルな視点を持って異文化理解へとつなげます。
5. 「日本語」の分野では、「日本語表現法 A（音声）」「日本語表現法 B（文章）」を開講します。これらを通して、日本語を的確に読み、書き、聞き、話す能力を身につけます。
6. 「人文」の分野では、「日本の歴史」「世界の歴史」「異文化理解」「哲学の基礎」「倫理学の基礎」「心のメカニズム」「日本の文学」「外国の文学」を開講します。これらを通して、多様な文化、思想、歴史について理解するとともに哲学、倫理、心理、文学について理解し、幅広い教養を身につけます。
7. 「社会」の分野では、「憲法と基本権」「社会生活と法」「暮らしと経済」「市民生活と政治」「国際事情」「社会福祉学の基礎」「現代社会と生活」「地域社会と共生」を開講します。これらを通して、幅広い教養を身につけるとともに、社会と人間とのかかわりを理解します。
8. 「自然」の分野では、「生活と環境」「自然と環境」「生命の科学」「生活と化学」「数学入門」を

開講します。これらを通して、幅広い教養を身につけるとともに、自然や環境と人間とのかかわりを理解します。

9. 「日本文化」の分野では、「日本文化論」、さらに「日本の文化（書道）」「日本の文化（華道）」「日本の文化（舞踊）」「日本の文化（陶芸）」を開講します。芸能としての書道・華道、祭礼と関わる舞踊、物づくりの原点としての陶芸を通して、日本各地に伝承される地域文化を比較研究し、本質を考え、その上で日本文化の深層を見極めます。
10. 「情報」の分野では、「情報リテラシー A」「情報リテラシー B」を開講します。これらを通して、情報通信技術を用いて多様な情報を適切に取捨選択し、分析活用する技能を身につけます。
11. 「海外研修」の分野では、本学の提携校における留学経験を通し、語学力を高め、異文化理解を深め、自ら考え行動する力を身につけます。

有資格者の単位認定について

下記に掲げる資格を有する学生は、証明書を持参の上、履修登録開始日から履修登録確認・訂正最終日(16:30)までに教務課へ申し出てください。審議を経て、下記に準じた単位が認定されます。

授業科目名	単位数	認定基準
総合英語Ⅰ／総合英語Ⅱ／ 総合英語Ⅲ／ 英会話Ⅰ／英会話Ⅱ／英会話Ⅲ	2	実用英語技能検定試験 2 級 TOEFL 450 点以上 520 点未満 TOEIC 520 点以上 640 点未満
	4	実用英語技能検定試験準 1 級 TOEFL 520 点以上 550 点未満 TOEIC 640 点以上 810 点未満
	6	実用英語技能検定試験 1 級 TOEFL 550 点以上 TOEIC 810 点以上
中国語Ⅰ／中国語Ⅱ	2	中国語検定試験 3 級以上
韓国語Ⅰ／韓国語Ⅱ	2	韓国語能力試験 2 級以上
フランス語Ⅰ／フランス語Ⅱ	2	実用フランス語技能検定試験 3 級以上
ポルトガル語Ⅰ／ポルトガル語Ⅱ	2	外国語としてのポルトガル語検定試験 (APLE) 準初級以上 ブラジル教育省による外国人のためのポルトガル語検定試験 (CELPE-Bras) 中級以上

注 1. この制度の運用は内規により行います。

2. すでに単位認定された科目についての申請は認めません。

心理学部科目について

基礎演習

基礎演習は、1年次に基礎演習Ⅰ・基礎演習Ⅱを、2年次に基礎演習Ⅲ・基礎演習Ⅳを履修するように構成されています。これらは、大学での学習全般および心理学の習得に必要な基礎的内容を学習する必修科目です。本学の理念である共生の精神を基盤とし、心理学への興味を高め、大学に必要なさまざまな学習スキルを修得するための基本的な学びを実践していきます。比較的少人数で編成されるゼミが学習の基本単位となります。

基礎演習Ⅰでは、4年間の大学生活の基礎を学ぶとともに、心理学の方法論の初歩を学びます。大学生活の基礎としては、本学名古屋キャンパスの施設紹介にはじまり、大学での勉強の仕方、特に、レポートや論文の書き方、情報検索の方法などについての基本を学習します。

基礎演習Ⅱでは、基礎演習Ⅰで身につけたことを基礎とし、心理学に大切なレポート作成、文献検索、特にプレゼンテーションの方法をさらに深く学んでいきます。また、卒業後の進路についても、講演会などを開催し、心理学科の学びの特色とともに将来の進路・キャリアについてもじっくり考えてもらいます。

基礎演習Ⅲ・基礎演習Ⅳでは、3年次からの総合演習への導入をおこないます。心理学に関するより専門的な文献を読んでいく演習が中心になります。また、3年次からの専門ゼミ（総合演習）の選択のために、各専門領域およびゼミについての紹介もあります。

基礎演習ⅠからⅣでは、各ゼミ単位の少人数で行われる学習のほかに学年全員が1つの教室に集まって学習する授業も設定されます。

総合演習

3年次から始まる総合演習は、各教員の専門分野を中心に指導を受ける科目です。各自興味のある課題について調査・研究し、ゼミで発表する過程を通じて卒業論文へと結実させていく重要な演習となります。卒業研究では、それまでの学習で培った総合的な能力を具体的に表現し確認する作業が課されます。

原則として各ゼミ10名程度で編成します。所属するゼミは選択できますが、総合演習Ⅰ・総合演習Ⅱ（3年次）と総合演習Ⅲ・総合演習Ⅳ（4年次）は同じゼミとなります。

その他の注意事項

出席、試験方法、評価方法などは科目担当者によって異なる場合があります。「シラバス」に記されていますが、わからないときには必ず科目担当者または教務課に確認してください。